

中小規模病院における特定行為研修修了看護師の活動とその効果

大手 恵¹⁾ 鈴木 三和¹⁾ 登山 かおり¹⁾ 高橋 陽子¹⁾ 谷崎 義生²⁾
美原 盤³⁾

1) 公益財団法人脳血管研究所 附属美原記念病院 看護部

2) 公益財団法人脳血管研究所 附属美原記念病院 看護師特定行為研修センター長

3) 公益財団法人脳血管研究所 附属美原記念病院 院長

[はじめに] 当院はケアミックス型の脳・神経疾患専門病院(189床)であり、平成29年10月に特定行為研修修了看護師が3名誕生し、看護師による気管カニューレ交換を開始した。その活動について報告する。

[方法] 平成29年10月から平成30年5月の特定行為看護師による気管カニューレ交換実施状況、特定行為に関連するインシデント・アクシデント件数、および特定行為に対する患者満足度、病棟看護師へのアンケートを調査した。

[結果] 気管カニューレ交換件数は116件で全体の6割を占め、1件あたり要する時間は医師による場合が約2分、特定看護師は約9分、これに関連するインシデント・アクシデントの発生はなかった。また、特定行為看護師に対する患者および病棟看護師の評価は高かった。

[考察] 中小規模病院における特定行為看護師の活動は、医師の負担軽減、患者満足度の向上、および看護師の役割モデルの確立に寄与すると思われる。